

さん さん 火 爆 火 爆

大分三愛メディカルセンター 広報誌

No. 17

2010・11・25

発行元：図書広報委員会

太陽の光が明るくきらきらと輝くさま。

大分三愛メディカルセンターが地域の中で燐燐と輝くことを目指して名づけました。

- 病院 1. 患者さまが安心して生命を委ねられる病院。
2. 専門性の高い医療、患者さま中心の医療を実践する病院。
3. 他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院。
4. 職員が幸せでやりがいのある病院。



INDEX

リレーフォーライフ	1p	改正臓器移植法について	5p
市民公開講座のお知らせ	1p	クリスマス会のお知らせ	5p
院内研究発表会	2p	看護セミナー	5p
院内BLSの活動	2p	インフルエンザ予防接種のお知らせ	6p
外来担当医表・施設認定等	3p	受付窓口の変更のお知らせ	6p
糖尿病教室のご案内	4p	Latisse	6p



リレーフォーライフ大分2010に 参加しました!

リレーフォーライフ(Relay For Life)とは、がん征圧の願いを込め、患者や家族・支援者が交代で会場を24時間歩き続ける、がん患者支援チャリティーイベントです。毎年全国各地で開催され、今年も全国20か所で行われました。

大分県でも10月9日(土)・10日(日)に大分スポーツ公園において、第3回リレーフォーライフが開催されました。開始後数時間は雨に見舞われたものの、過去最高となる64チーム・5000人の参加があり、当院からも「チーム三愛」として参加しました。今回で三回目の参加となります。医師をはじめとした多職種にわたる職員・子供を含めたご家族の皆さん総勢約130人の協力を得て、無事24時間タスキを繋ぐ事ができました。24時間通じて歩き続けてみて、「三愛メディカルセンターのチームワークと活気はすごい!」と改めて実感しました。今後も、このような活動に病院としても参加ていきたいと考えています。

市民公開講座のお知らせ

地域医療連携室では、地域貢献活動の一環として、地区的イベントや敬老会の集いなどの際に、当院の医師や看護師、理学療法士等を派遣して、各種病気の話や、病気予防の話、リハビリの話等を地区の公民館で開催しています。近隣地区の皆様の健康な生活の為に、また、より多くの皆様に大分三愛メディカルセンターの事を知って頂く為に、市民講座を開催させて頂きます。

過去に行った講座としては

- | | |
|---------------|----------------|
| ・骨に関する話 | ・前立腺に関する話 |
| ・腸に関する話 | ・呼吸器(肺炎等)に関する話 |
| ・寝たきりにならない為の話 | |

等の話をさせて頂いています。

この他にも「こんな話を聞きたい」という要望や、「こんな事で困っている」というような事があれば遠慮なくご相談下さい。



7月14日、田島公民館で行われた講演(野村芳雄医師による「前立腺がんの話」)の様子(写真上)。講演の際、理学療法士によるリハビリテーション指導なども行っています(写真下)。

第17回 三愛会院内研究発表会

10月30日(土)、院内研究発表会が開催されました。各職域・部署から170名を超える出席者があり、13題の一般演題の発表に続き、活発な討論が行われました。会を重ねるごとに、テーマを始めとした内容や発表方法に工夫が見られて充実した内容となってきており、発表した皆様に敬意を感じます。特に今回は、さらに検討を統ければ、院外の学会・研究会などに発表しても遜色ない内容の演題が3～4題あり、今後の発展が期待されました。

私たちの周囲には、研究対象となる問題がたくさんあります。日々の業務の中で問題意識を持ち、研究として取り上げる気持ちを持つべ、活気ある職場となるに違いありません。職員の皆様にはこの点に留意し、どんな些細なことでも是非研究課題として取り上げる態度を持ち続けて欲しいと思っています。

会の最後には特別講演として、大分大学健康管理センターの藤田長太郎教授より、『メンタルヘルスケア問題一家族としてどう対応するかー』という演題でお話し頂きました。身近なメンタルの問題が話題であり、とても好評でした。

(三愛会院内研究会会長 野村 芳雄)



院内BLSの活動

大分三愛メディカルセンターでは、約2年前から各病棟・外来のスタッフで院内BLSチームを結成しており、全職員対象の院内BLS(一次救命処置)講習会を1～2ヶ月毎に開催しています。いざという場面に遭遇した時にすぐ使える技術を身につけてもらえるよう、実践重視の講習会を行っています。最初は声を出すのを恥ずかしがっている受講者も、倒れている人を家族に想定したりと、真剣な表情で取り組みながらも、少人数で和気あいあいと学べるようにしています。実際に、看護師や看護補助者・薬剤師・ソーシャルワーカー・事務職員など多職種にわたるコ・メディカル職員が受講し、知識を習得しています。

もしも救急現場に居合わせた時に、医療従事者として正しい知識を持って心肺蘇生などの適切な処置を行えるよう、全看護職員・コ・メディカル職員の受講を目標に、今後も活動していきたいと思っています。



BLSとは?

BLSとは、一次救命処置(Basic Life Support)の略で、特殊な器具や医薬品を用いずに行う心肺蘇生法を意味し、救急隊や医師に引継ぐまでの間に行う応急手当のことです。対して、救急救命士や医師による高度な蘇生処置(心肺蘇生以外も含む)を二次救命処置(Advanced Cardiac Life Support; ACLS)と呼びます。

具体的な例としては、次のことを行います。

- ①状況の確認・倒れた人の安全の確保、②意識の確認、③119番への通報・応援を呼ぶ、④気道確保(A:Airway)、⑤人工呼吸(B:Breathing)、⑥胸骨圧迫(C:Circulation)、⑦AEDによる除細動(D:Defibrillation)

外来担当医一覧 大分三愛メディカルセンター

【平成22年11月1日現在】

		月	火	水	木	金	土	日
外科 心臓血管外科 消化器外科 呼吸器外科 大腸・肛門科 乳腺外科	午前	森 (心臓血管外科)	半澤	森 (心臓血管外科)	新谷・樺原	森 (外科・心臓血管外科)	藤原	
	午前	新谷	新谷	藤原		岩熊 (乳腺外科)	樺原	
	午前		福永 (乳腺外科)					
内科 消化器内科 呼吸器内科 糖尿病内科 循環器内科 神経内科	午前	岡本 (糖尿病外来)	那須 (消化器)	神徳 (循環器)	那須 (腹部漢方外来)	那須 (消化器)	篠崎 (循環器)	
	午前	藤井 (禁煙外来)	小宮 (呼吸器)	藤井 (呼吸器)	小宮 (呼吸器)	藤井 (呼吸器)	藤井:奇数週 (呼吸器) 小宮:偶数週 (呼吸器)	
	午前	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	金子 (一般)	
	午前		後藤 (循環器)	門田 (せき・呼吸器外来)	植松 (糖尿病外来)	麻生 (神経内科)		
整形外科	午前	内田	内田	猿渡	猿渡	内田	猿渡	
	午前	高木	猿渡	高木	内田	高木	高木 (第1土曜日不在)	
形成外科	午前	内野 (一般形成) (美容皮膚科) 浜田 (リンパ浮腫・下肢静脈瘤特診)	浜田	浜田 吉田	浜田 吉田	内野 (一般形成) (美容皮膚科) 浜田 (リンパ浮腫・下肢静脈瘤特診)	浜田／(内野)	
泌尿器科	午前	中野	野村	中野	中野	野村	中野	
眼科	午前	山田		調枝		久保田		
リハビリテーション科	午前	半澤	則行 (リハビリ・神経内科)	森	則行 (リハビリ・神経内科)	(整形外科)	則行 (リハビリ・神経内科)	

救急対応

特殊外来

外科	午後		新谷 (痔・肛門外来)	森		岩熊 (乳腺外科)		
内科	午後	則行 (めまい・頭痛外来) 鳥越 (循環器・一般内科外来)	後藤 (一般内科外来)	則行 (めまい・頭痛外来)	藤井 (せんぞく外来) (じん節・アスペスト外来) (一般内科(新患))	小宮 (呼吸器外来) (一般内科(新患)) 麻生 (神経内科)		
泌尿器科	午後		野村 (腎不全・透析外来)		野村 (頻尿・尿失禁外来)			

○専門外来 受付時間 8時15分～12時00分
診療時間 9時00分～12時30分

○特殊外来 受付時間 13時30分～17時00分
診療時間 14時00分～17時30分

○土曜日 午後休診

※救急時間外診療は24時間対応いたします。

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
二次救急指定病院
大分DMAT 指定病院
厚生労働省指定 臨床研修病院(協力型)
日本急救医学会 救急科専門医指定施設
日本外科学会 外科専門医制度関連施設
日本泌尿器科学会 専門医教育施設
日本形成外科学会 教育関連施設
日本整形外科学会 専門医研修施設
日本静脈経腸栄養学会認定 NST稼動施設
日本栄養療法推進協議会 (JCNT)NST稼働施設

保険医療機関・公費負担医療機関(費用負担に係る項目)

労災保険指定医療機関
指定自立支援医療機関(更正医療)
身体障害者福祉法指定医配置医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被害者医療指定医療機関
原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
特定疾患治療研究事業委託医療機関
小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
DPC 対象病院

社会医療法人三愛会
大分三愛メディカルセンター

〒870-1151 大分市大字市1213番地
TEL(097)541-1311 FAX(097)541-5218
URL <http://www.san-ai-group.org/>

糖尿病教室のご案内

糖尿病とは、血液中のブドウ糖(血糖)の量が多くなりすぎ、その結果次第に血管などに影響を及ぼし、目や腎臓・神経など全身にわたり合併症を引き起こす病気です。加齢のほか、日常の生活習慣が誘因となって発病するため、「**生活習慣病**」と言われています。現在、日本では40歳以上の7人に1人が糖尿病もしくは糖尿病が強く疑われるといわれており、その数は年々増加しています。

当院では、大分県糖尿病療養指導士の資格を持つ、看護師、管理栄養士、薬剤師と糖尿病専門医師で月2回糖尿病教室を開催しています。毎回、指示カロリーにそった昼食を食べ、糖尿病について学んでいただけるようになっています。1人で悩まず、同じ病気を持つ患者様やそのご家族と一緒に糖尿病について学んでみませんか。



糖尿病の予防には…

薬の量や飲み方

⇒医師の指示を守り、決して自分で加減しないように気をつけましょう。



食事療法

⇒適正な摂取カロリーと規則正しい食生活、栄養バランスの良い食事をしましょう。

運動療法

⇒散歩など、いつでも、どこでも、1人でもできる運動を心がけましょう。

糖尿病教室 のご案内

対象者…糖尿病患者様とそのご家族

時 間…毎月(第1・3木曜日) AM9:00~12:30

場 所…大分三愛メディカルセンター 2F会議室

《教室の特徴と内容》

- ・毎回、食事指導の一環として昼食を提供しています。(1食500円)
- ・毎回、体重測定と医師の指示による検査を行います。(外来処置室にて)
- ・1ヶ月計2回の受講で1コースとなります。
- 《1回目》糖尿病の話(インスリン・血糖とは?)、体の仕組み、食事の話、食事の話(食品交換表の見方・摂取カロリーの出し方・バランスの良い食事・アルコール、嗜好品、外食について)
- 《2回目》運動の話と実際・検査の話、薬(インスリン注射、内服薬)の話、日常生活で気を付けたい事、フットケア他



少しでも糖尿病のことを知りたい方は、糖尿病療養指導士にお気軽にご相談ください。

お問い合わせは **097-541-1311**(代表) 園田／川崎まで。



改正臓器移植法について

2010年7月17日より、改正臓器移植法が施行されました。

日本では、長年脳死後の臓器提供の道が閉ざされ、心停止後での提供による腎臓移植や、家族などに提供してもらう生体腎移植に限られた移植医療が進められてきましたが、1997年10月16日に臓器移植法が施行され、脳死後の臓器提供が可能となつたという歴史があります。1999年2月に初の脳死後臓器提供が行われ、以来2010年3月までに86人の方からの脳死後の提供により、計374件の移植が行われています。大分県でも、2009年までに3件の臓器提供・9件の移植が行われています。

しかしながら、欧米諸国と比べて移植医療が進まない原因として、①「脳死後の臓器提供は、本人の生前の書面による意思表示がない限り、法的脳死判定および臓器提供ができない」、②「15歳未満は脳死後の臓器提供を行うことができない」などの背景がありました。そうした背景を元に、改正臓器移植法が施行されました。

改正法のポイントは、以下の通りです。

改正の主なポイント



①親族に対する優先提供の意思表示

本人(15歳以上の方)が臓器を提供する意思表示に併せて、親族への優先提供の意思を書面により表示することができるようになりました。

②本人(15歳未満も含む)の意志が不明な場合の家族の承諾による臓器提供

本人の意思表示が不明な場合も、家族の承諾があれば臓器提供ができるようになりました。それにより、15歳未満の方からの脳死下での臓器提供も可能となりましたが、虐待を受けて死亡した児童から臓器を提供されることのないように適正に対応することが定められています。

「臓器提供意思表示カード」が変わりました!

臓器提供の意思は、①インターネットでの登録、②健康保険証意思表示欄、③運転免許証の意思表示欄などで示すことが出来ます。

意思表示カードは、「臓器を提供する」という意思だけではなく、「臓器を提供しない」という意思も表示できるようになっており、どちらの意思も尊重されます。また、臓器を提供しないという意思表示がある場合には、本人の意思が尊重されるため、家族が提供を希望しても提供されることはありません。



当院は「献腎摘出協力医療機関」です!

当院は、「献腎摘出協力医療機関」であり、心停止後(脳死下では不可)に本人もしくは家族の同意の上で、腎臓・角膜を摘出することができます。ちなみに、当院で摘出された臓器は、大分県では大分大学附属病院において、移植が必要な患者様に移植されます。また当院では、泌尿器科医師1名・透析センター看護師1名・ME部臨床工学技士1名が『院内移植コーディネーター』として、院内での臓器提供に関する知識の向上や普及、啓発の役割を担っています。臓器移植に関して不明な点などがありましたら、ぜひ声をおかけください。

クリスマス会 のお知らせ

今年も、毎年恒例のクリスマス会を行います。

昨年のクリスマスコンサートでは、劇団のかわいい子供たちのダンスや、ギターと歌の生ライブを行うなど、とても盛り上がりました。夜には、サンタさんに扮した医師と職員が病棟を回り、キャンドルサービスや手作りケーキのプレゼントを行っています。



昨年度のクリスマスコンサートの様子

クリスマスコンサート

日時: 12月18日(土)14時30分~

場所: 大分三愛メディカルセンター1F

専門外来待合コーナーにて

※入院患者様やご家族はさぞやく、ごみたざらご参加いただけます。



再就職支援! 看護セミナー



日 時 11月26日(金) 午前9時~午後4時

場 所 大分三愛メディカルセンター

2階会議室(大分市大字市)

対 象 看護師・准看護師の免許をお持ちの方でブランクがあり不安な方など

内 容 医療安全・感染予防の講義、採血注射、救急蘇生、現場見学など

定 員 10名

お申し込み・お問い合わせ

電話またはメールにて 大分三愛メディカルセンター

看護部 小出または総務課 割石まで。

☎ 097-542-7487

E-mail info@san-ai-group.org

インフルエンザ予防接種のお知らせ

今年度のインフルエンザワクチンは、季節性ワクチンと新型ワクチンの両方の性格を併せ持つ、3価ワクチンを接種します。

接種期間 平成22年10月1日～平成23年3月31日

※月曜日～土曜日の外来診療時間内(土曜日は午前中のみ)

接種料金 ◇ 高齢者インフルエンザ

(大分県内在住)

低所得者 無 料
上記以外 1,000円～

◇ 左記以外の任意接種者

1回目	3,600円
2回目(同一医療機関)	2,550円
2回目(他医療機関)	3,600円



※今年度の任意接種料金については、厚労省通知で統一となっています。

受付窓口の場所が一部変わりました



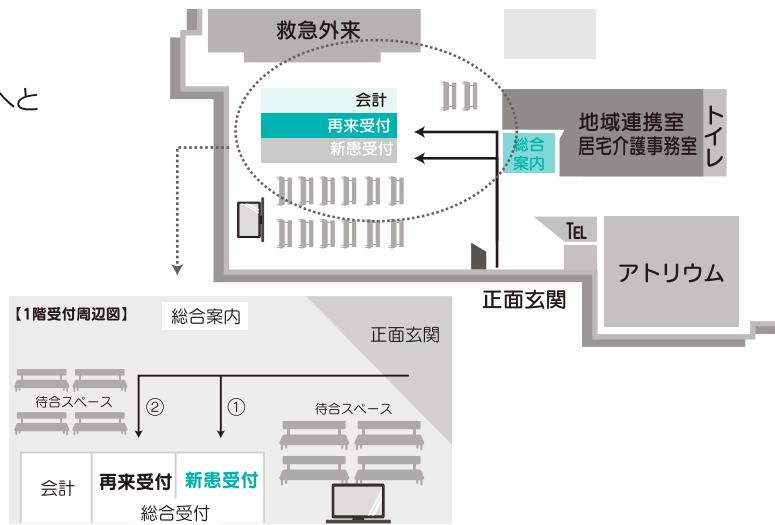
10月12日より、受付窓口が
「新患受付」と「再来受付」へと
一部変更となりました。

①「新患受付」

→初めて受診される方、久しぶりに
受診される方、紹介状を持参している方、
書類を依頼される方

②「再来受付」

→定期的に診察される方・予約されている方



まつげが長く太く濃くなる!
まつ毛貧毛症治療薬(FDA認証)

Latisse™ (ラティース™)のご案内

ラティース(Latisse)とは?

まつ毛貧毛症(まつ毛が貧弱で不十分な状態)を改善する処方薬です。使い方は簡単で、毎晩1回塗るだけの手軽さが魅力です。効果は徐々に現れるので、とても自然にまつ毛を増やすことができます。

ラティースの症例

*効果には個人差があります



・基本は①効果がはっきり見えるまで、少なくとも2ヶ月間塗布を続けることが望ましい②そのまま効果を持続させるには、継続して使うことが望ましいとされていますが、最小限の使用で最大の効果を上げられるよう、指導しています。
・使用を中止すると、数週間から数カ月かけて、徐々に元のまつげに戻っていきます。

このような方に向いています



- ・まつ毛を長くはっきり見せたい
- ・エクステでまつ毛が痛んでしまった
- ・年齢とともにまつ毛が薄くなってきた

料金

1セット

16,000円

※滅菌済みアプリケーター60本入り(両眼30日分)



【お問い合わせ】

大分三愛メディカルセンター (097)541-1311

※在庫状況によっては、お薬のお渡しを待って頂く場合があります。